

すこやか

みなみネット通信 9月号

令和2年度 白銀南中学校

校長 伊崎 己治

令和2年度 体育祭

魅せろ！ミナミノツムギ ～創立30周年の決戦～

8月28日（金）に第30回体育祭が行われました。例年とは違い平日開催となりましたが、たくさんの保護者の方に御来校いただきました。気温が高く、熱中症が心配されましたが、お陰様で予定されていた競技はすべて実施でき、青軍、黄軍ともに素晴らしい戦いが繰り広げられた最高の体育祭でした。

今年の体育祭のテーマは「魅せろ！ミナミノツムギ～創立30周年の決戦～」でした。全校生徒一人一人が短い期間と限られた内容の中で、知恵とアイデアを出し合い、30周年を迎える節目の年を意識し、思いを込めて体育祭に向け準備、練習をしてきました。

今年は例年以上の猛暑となりましたが、夏休み中、3年生は30℃を超える教室で学習会を行い、その後体育祭の準備や練習に取り組んでいました。今回の体育祭は、新型コロナ対策のため、練習時間や競技内容が限られた状況でした。その中で3年生がリーダーシップを発揮し、それに1・2年生が応え体育祭を盛り上げてくれました。

さまざまな制限の中で行われた体育祭でしたが、30周年にふさわしい体育祭となりました。今後の学校生活も様々な制限の中での活動が予想されますが、今できることに全力で向かい、体育祭の成功を自信に変えて挑戦していただきたいと思います。

感謝

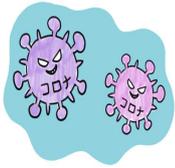
**保護者、地域の方々に感謝！
日頃の見守り、御協力ありがとうございます！**



体育祭の開催にあたり、今年度もおやんずの会の皆様により入場門の設置と撤収に御協力いただきました。当初は入場門なしの体育祭を考えていましたが、「子供たちのために！」という熱い思いから今回も集まっていただき体育祭に花を添えてくれました。

また、体育祭の予行の日のこと、市内の学校に爆破予告があり、本校でも対応に追われていました。そのような中、各連町の会長さんに情報提供をしたところ、すぐに防犯協会の方々をはじめとされるたくさんの方が見守り、巡視等を行ってくださいました。今年は新型コロナ対策の関係で様々な行事に、地域の方をお招きできない状況にありますが、新型コロナが落ち着いた時には、また生徒の様子を見に来ていただきたいと思います。

コロナ禍の中ではありますが、白銀南中学校はたくさんの保護者、地域の方々に見守られていることを改めて実感させられました。本当にありがとうございました。



恐れるのはウイルス! 人ではない!

～無くそう 差別! 偏見! いじめ!～



今年度、1年生だけの入学式に始まり、修学旅行、合唱コンクールの延期、市中体・NHK全国音楽コンクールの中止等、新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限されています。その中で、生徒の皆さんには1学期の終業式では新型コロナウイルスの特徴と感染防止の話から、「恐れるのはウイルスで、人間ではない!」という話をしました。また、2学期の始業式では「ピンチをチャンスに変える!」という話をしました。そして、9月2日の道徳の時間には、文部科学大臣からのメッセージ「児童生徒等学生の皆さんへ」を教頭先生が全校生徒に向けて朗読し伝えました。(下記)

現在、新型コロナウイルスの感染経路が確定できない市中感染が広がっている中、いかに感染防止対策をしっかりといても感染してしまう恐れがあります。感染してしまった本人や家族は悪くありません。不確定な情報に惑わされることなく、「差別」「偏見」「いじめ」等が起こらないよう皆で配慮し協力していきましょう。

児童生徒等や学生の皆さんへ

新型コロナウイルスが広がってから、皆さんは、がっこうはどうなるのだろう、この先どうなるのだろうと、不安だったのではないのでしょうか。新学期を迎えるに当たって、皆さんに伝えたいことがあります。 ~略~

新型コロナウイルスは誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気ができてしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることをおそれて、具合が悪くても、その後は言いだしにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。そうすると、さらに皆さんの地域で感染が広がってしまうかもしれません。

感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときは温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があつたりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。

すでに、感染した人達が心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりしているという事例が起きています。こうしたことが皆さんの周りでも起きないように、皆さんにも協力してほしいのです。 ~略~

これまでも、私たち人間は、新型コロナウイルスのような新しい病気を経験してきました。そのたびに、世界中の研究者が病気の原因を探り、予防方法を見つけたり、薬の開発をしたりしてきました。そうして、私たちは、病気と共存していく。この歴史は繰り返されています。新型コロナウイルスも研究が進んで解明されれば、予防と治療ができるようになり、新たな共存生活が始まります。

私たち大人は、皆さんの応援団として、将来の見通しを持ち、未来の社会の担い手である皆さんが学ぶ機会、遊ぶ機会、交流する機会を最大限作っていきます。それまで、皆さんは今自分ができる予防をしっかりと行い、将来の目標を持ち、家庭や学校で日々学びを続けてほしいと願っています。

令和二年八月 文部科学大臣 萩生田 光一